

平成20年度塩竈市環境基本計画関連施策・事業推進状況

環境像	基本目標	施策の方向	具体的施策	具体的施策名	重点施策	施策・事業名	実 施 状 況 (平成20年度まとめ)	完了 主 管 課 (変更前)	管 理 指 標	管 理 項 目	市 民 生 活 部 環 境 課 管理指標実績				管理目標値											
											平成13年	平成18年	平成19年	平成20年												
											平成13年	平成18年	平成19年	平成20年												
1. 共生（海とみどりをまもり・育て・いかす・自然と共生するまち）	A 塩竈の海を活かした水辺環境をつくる。	散策路や広場など熱水施設の整備を進めます。	「海辺の賑いゾーン」の整備	「海辺の賑いゾーン」都市基盤整備事業		J R塩竈駅東側「海辺の賑い地区」の整備を土地区画整理事業により施行している。現在は、仮換地指定を行うと同時に整備工事関係を行っている。 平成18年度 平成19年度 平成20年度 *事業実績 550,800千円 823,455千円 357,832千円 *仮換地 平成20年度未現在 指定面積43,413㎡（100%）	都市計画課	「水辺のいい場所ランキング」を実施し、「いい場所」を最初の認定箇所数の2倍以上に増やすことを目標とする。	・水辺のいい場所ランキング認定数		未認定	未認定	未認定	未認定	認定後の2倍											
																港奥部再開発事業の推進	塩竈港整備促進期成同盟会負担金・塩竈ヴェネツィア計画	国、県に対し、三市町の行政・商工会で構成する塩竈港整備促進期成同盟会において港奥部再開発の早期着手に向けた要望活動を行った。 塩竈港整備促進大会の開催（参加者111名） 宮城県・国土交通省東北地方整備局への要望 地元選出国会議員・国土交通省港湾局への要望 「知って・見て！塩竈港」見学会の実施（参加131名） 平成20年度を持って活動終了となった。	同上	同上	同上	同上	同上			
		B 市民が楽しめる魅力ある港町をつくる。	海とのつながりを重視したまちの活性化を進めます。	中心市街地活性化事業の推進	中心市街地活性化推進支援事業	中心市街地活性化推進支援事業		中心市街地の活性化に結びつくイベント等を企画・実施する団体に対し、補助金を交付する。一般公募 平成18年度 平成19年度 平成20年度 *補助金交付数 3件 3件 4件 500千円 2,250千円 3,855千円	都市計画課	マリゲート塩竈の総利用者数、年間150万人を維持します。また、そのうち船舶利用以外の利用者割合を50%以上を目標とします。	・マリゲート塩竈の総利用者数	130万人	109万人	107万人	99万人	約150万人										
																	観光施設整備・サイン計画の策定	観光施設整備事業	既存の海岸通公衆トイレの改修について地元と協議を行い、改修を含む顧客利便施設の整備に向け、経済産業省へ補助申請を行い「海岸通顧客利便施設」整備を行った。 平成16年度 平成17年度 12月補助決定通知 9月1日より利用開始	市民アンケート調査で海と接する機会が「少しある」又は「たくさんある」の回答率を60%に引き上げることを目標とします。	・海と接する機会が「少しある」又は「たくさんある」の回答率	41.80%	アンケート調査未実施	89.70%	アンケート調査未実施	60%以上
		C くらしと産業が共存する海辺をつくる。	港の利用を高めるような漁港や港湾部の多目的・高次利用を推進します。	北浜地区造船船移転対策の推進	北浜地区造船船移転対策事業	北浜地区造船船移転対策事業		造船各社8社との移転交渉を宮城県が行っている。本市は交渉のサポート等を行っている。 平成18年度 平成19年度 平成20年度 全体23,000㎡ 13,901㎡まで終了 16,601㎡まで終了 19,100㎡まで終了	商工観光課（みなとまちづくり課）	「水辺のいい場所ランキング」を実施し、「いい場所」を最初の認定箇所数の2倍以上に増やすことを目標とします。	・水辺のいい場所ランキング認定数	未認定	未認定	未認定	未認定	認定後の2倍										
																	漁港背後地の利用促進	塩竈漁港修築事業（受益者負担金）	塩竈漁港の機能整備、拡充するための根拠事業に対して負担を行い、水揚時の安全確保を図る岸壁補修工事、水深確保を図る泊地の浚渫工事を進めた。事業年度、平成14年度～平成23年度までの整備事業 泊地浚渫工事 岸壁改良（核機製作） 臨港道路（一部）整備 岸壁（物揚場）車止改修など 平成18年度 平成19年度 平成20年度 *負担金額 8,680千円 21,000千円 51,500千円	市民アンケート調査で海と接する機会が「少しある」又は「たくさんある」の回答率を60%に引き上げることを目標とします。	・海と接する機会が「少しある」又は「たくさんある」の回答率	41.80%	アンケート調査未実施	89.70%	アンケート調査未実施	60%以上
	市民も観光客も楽しめる海辺の拠点整備と活用を進めます。			マリゲート塩竈の利用拡大	旅客ターミナル管理運営事業		旅客ターミナル管理運営事業		平成18年4月から指定管理者制度に移行し、塩竈港開発(株)がマリゲート塩竈の管理運営を行っている。 市として、イベント開催に関連する広報活動のサポートによる集客数向上、及びイベント開催等で施設利用促進を行った。 指定管理者である塩竈港開発(株)が中心となり賑わいのあるイベント（イベント開催数 H18：14回 H19：13回 H20：10回）	商工観光課（みなとまちづくり課）	マリゲート塩竈の総利用者数、年間150万人を維持します。また、そのうち船舶利用以外の利用者割合を50%以上を目標とします。	・マリゲート塩竈の総利用者数	130万人	109万人	107万人	99万人	約150万人									
			水産加工テナテナショップ事業																水産課	マリゲート塩竈の総利用者数、年間150万人を維持します。また、そのうち船舶利用以外の利用者割合を50%以上を目標とします。	・マリゲート塩竈の総利用者数	130万人	109万人	107万人	99万人	約150万人
	D 身近な都市の緑をつくる。		市民や事業者の緑化意識の向上を図ります。	「花いっぱい運動や花と緑の日」の啓発	緑化推進事業（公園維持管理事業）その1		地域の街路等に花の植栽活動を行っているボランティア団体に、費用の一部を助成しながら緑化意識の向上を図る。 平成18年度 平成19年度 平成20年度 *交付団体 4団体 4団体 4団体 花と緑の日を開催している。 平成18年度 平成19年度 平成20年度 *式典参加者 80人 100人 105人 *苗木配布 330本 なし *公園整備功労 22人・3団体 14人・4団体 14人1団体	土木課	市民アンケート調査で「家やその周辺のみどりを育てている」の実施率を85%に引き上げることを目標とする。		81.00%	アンケート調査未実施	70.80%	アンケート調査未実施	85%以上											
		「みどりの少年団」の支援・育成														緑化推進事業（公園維持管理事業）その2	学校内での植栽や周辺地域の環境美化活動を行う「みどりの少年団」に対し、費用の一部を助成した。 平成18年度 平成19年度 平成20年度 *交付団体 1団体170千円 1団体170千円 1団体170千円	同上	同上	同上	同上	同上	同上			
		公共施設の緑化や民有地の緑地保全など、まちなかの緑を増やし、ネットワーク化を進めます。		幹線道路の街路樹整備の推進	都市計画課 下馬春日線（赤坂・栄町）	都市計画課 下馬春日線（赤坂・栄町）		都市計画街路、下馬春日線（赤坂・栄町）の道路本体工事の進捗に合わせ、植栽工事をし、平成16年度緑地工事により平成17年度も引き続き、道路築造工事、植栽工事及びボケットパーク整備工事等を行い年度内完了している。	土木課	1人あたりの都市公園等面積を20㎡に拡大し、市内幹線道路の街路樹整備率を26%以上にします。	・街路樹整備率	18.30%	18.30%	18.30%	18.30%	26%以上										
市民との協働により身近な公園緑地の魅力を高め、積極的に活用を図ります。																	緑化推進事業（公園維持管理事業）その3	公園の除草や遊具の簡易補修等、管理の一部を地域住民が自ら行うため地域団体と協定を締結している。 平成18年度 平成19年度 平成20年度 *協定団体数 35団体 35団体 35団体	8箇所以上の公園を再整備します。	・公園の再整備	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	8箇所	

平成20年度塩竈市環境基本計画関連施策・事業推進状況

環境像	基本目標	施策の方向	具体的施策	具体的施策名	重点施策	施策・事業名	実 施 施 策 状 況 (平成20年度末)	完了	主管課 (変更前)	管理指標	管理項目	市民生活部環境課				管理目標値
												管理指標実績				
												平成13年	平成18年	平成19年	平成20年	
1. 共生 (海とみどりをまもり、育て、いかす・自然と共生するまち)	E 生物の生息・生育環境を保全する。	伊保石公園・加瀬沼公園の整備 伊保石や加瀬沼、鹽竈神社など、市民の意見・要望を取り入れながら、市内に残された生物生息・生育環境の保全に努めます。	伊保石公園・加瀬沼公園の整備	伊保石公園整備事業	都市計画決定された計画面積66.5ha中、38.2haは供用済みであり、第1期整備区域は完了。	都市計画課	1人あたりの都市公園等面積を20㎡に拡大し、市内幹線道路の街路樹整備率を26%以上にします。	土木課	1人あたりの都市公園等面積	8.0㎡	9.8㎡	9.9㎡	10.0㎡	20㎡		
				加瀬沼公園建設事業負担金	計画面積102.3haのうち施設整備地区(17.5ha)は13年度から完全完成。13年度より緑地整備がよりア地区の用地取得を進めている。平成20年度実績 13,788㎡買収 当年度負担金 3,700千円	都市計画課	同上	同上	同上	同上	同上					
			水質調査の実施	水質調査実施事業	市を流れる河川13箇所ですべて3回水質調査を行い環境保全監視につとめている。 平成18年度 平成19年度 平成20年度 *新町川 2.6 2.3 1.2 *宮町川 3.1 3.8 1.4 *石田川 0.7 0.6 0.8 *生物化学的酸素要求量(BOD)：河川の汚濁の度合を示す指標で、水中の有機物等が微生物により分解されるときに必要な酸素の量で表したモノ。	環境課	(6) 市内の河川の調査地点におけるBODの年平均値の平均を3.0mg/l以下とするよう努めます。	・市内の河川の調査地点における水質(BOD)の年平均値の平均	4.3mg/l	2.1mg/l	2.0mg/l	1.5mg/l	3.0mg/l以下			
				公共下水道(汚水事業)の整備	公共下水道(汚水事業)の整備事業	計画面積に対する普及率 平成18年度 平成19年度 平成20年度 88.5% 89.1% 89.2% 人口普及率 98.5% 98.5% 98.5% 平成19年度繰越 24件 平成20年度繰越 1件	下水道事業所	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上		
			下水道への接続促進	下水道への接続促進	水洗化率 平成18年度 平成19年度 平成20年度 98.0% 98.0% 98.0% 水洗化戸数 92.8% 92.4% 91.0% 及促進戸数を設定し未接続世帯を28世帯訪問し水洗化要請を行った。 引き続き普及促進に取り組んでいく。 平成20年度 215件の水洗化申請実績がある	下水道事業所	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
				下水道の普及推進などにより、きれいな水環境づくりを進めます。	浦戸地区生活排水処理対策の推進	合併処理浄化槽設置整備事業	松島湾の水質浄化を目的として、浦戸地区における合併処理浄化槽の普及・整備を図る。事業補助は、平成21年度まで 平成18年度 平成19年度 平成20年度 補助実績 0件 0円 0円 0円 0円 浄化槽普及率 29.4% 29.4%	環境課	(6) 市内の海域調査地点における水質の環境基準を達成・維持し更に上位の環境基準達成に努めます。	[各項目を環境基準達成・維持、上位の環境基準の達成に努める]	各項目の実績	各項目の計測値	各項目の計測値	各項目の計測値	各項目の計測値	
	F 島嶼部の自然環境を保全し、その特性を活用する。	豊かな自然を享受し、それらと共存できる浦戸地区の生活基盤づくりを進めます。	カキ殻応用漁場の造成	浅海漁業振興支援事業	カキ生産に伴うカキ殻を粉砕し、海砂と混合して散布することにより、アサリ漁場の再生・造成を図る漁業協同組合の支援を行った。 平成18年度 2件 1,530千円 2件 1,130千円 2件 1,210千円	水産課	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上		
				環境学習への活用やイベントの開催など、島嶼部の自然環境の保全意識を高めるとともにその利用機会を拡大していきます。	自然に親しむ機会の提供、充実	・父子体験学習「オヤジといっしょに地引網」 ・磯の生物観察に挑戦!	生涯学習課	(1) 水辺のいい場所ランキングを実施し、「いい場所」を最初の認定箇所数の2倍以上に増やすことを目標とします。	・水辺のいい場所ランキング認定数	未認定	未認定	未認定	未認定	認定後の2倍		
			浦戸地区生活排水処理対策の推進【再掲】	合併処理浄化槽設置整備事業【再掲】	松島湾の水質浄化を目的として、浦戸地区における合併処理浄化槽の普及・整備を図る。事業補助は、平成21年度まで 平成18年度 平成19年度 平成20年度 補助実績 0件 0円 0円 0円 0円 浄化槽普及率 29.4% 29.4%	環境課	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
				道路の整備を継続して行った。 野々島地区に漁業集落環境整備事業により汚水処理施設、管路施設の整備を実施した。平成21年度供用開始を予定している。	水産課	(6) 市内の海域調査地点における水質の環境基準を達成・維持し更に上位の環境基準達成に努めます。	[各項目を環境基準達成・維持、上位の環境基準の達成に努める]	各項目の実績	各項目の計測値	各項目の計測値	各項目の計測値					
			G 伝統的な景観を守り、活用する。	市内に残る伝統的な景観を保全し、その歴史的・文化的価値を活用していきます。	文化財の保全・活用	国重要文化財鹽竈神社、特別天然記念物「鹽竈神社の鹽竈桜」及び埋蔵文化財包地・段塚・道跡等の文化財について、保全管理状況を確立し、その保護に努めた。また、「特別名勝「松島」保存管理計画」の改訂に関する現地調査等を行なっている。	生涯学習課	市民アンケート調査での「景観や歴史・ゆとり空間」について、「少しある」または「たくさんある」の回答率を80%に引き上げることを目標とします。	44.60%	アンケート調査未実施	34.40%	アンケート調査未実施	60%以上			
					北浜沢乙線沿線地区において塩竈市が施行する景観事業のコンセプトに基づき町並み作りの一環として史跡サインや道標等を配置した。 *設置件数 0 9件 4件 77箇所の設置を行う予定(エコマ144基・A'ゾ46基)	土木課	文化財・史跡サインの設置数を40箇所以上にします。	・文化財・史跡サインの設置数	12箇所	60箇所	66箇所	70箇所	40箇所			
H 貴重な自然景観を保全する。	松島の松林を将来にわたって保全し、再生していきます。	松くい虫対策の推進	松くい虫の被害にあった松の伐採・保存を要する松に感染予防薬剤の注入・薬剤の地上散布を実施した。(伐倒・治療・その他散布・調査等) 平成18年度 平成19年度 平成20年度 一般財源 11,409千円 18,765千円 9,992千円	水産課	市民アンケート調査での「景観や歴史・ゆとり空間」について、「少しある」または「たくさんある」の回答率を80%に引き上げることを目標とします。	44.60%	アンケート調査未実施	34.40%	アンケート調査未実施	60%以上						
		ワカメ・コンブ養殖振興対策の推進	ワカメ・コンブ養殖振興対策の推進	平成15年度で、浮き玉交換完了している。	水産課	同上	同上	同上	同上	同上	同上					
I 環境に配慮し調和した都市景観を創造する。	自然景観や周辺の環境と調和した公共施設や道路の景観整備を進めます。	北浜沢乙線・下馬春日線景観整備事業【再掲】	北浜沢乙線沿線地区において塩竈市が施行する景観事業のコンセプトに基づき町並み作りの一環として史跡サインや道標等を配置した。 *設置件数 0 9件 4件 77箇所の設置を行う予定(エコマ144基・A'ゾ46基)	土木課	文化財・史跡サインの設置数を40箇所以上にします。	・文化財・史跡サインの設置数	12箇所	60箇所	66箇所	70箇所	40箇所					
		北浜沢乙線・下馬春日線整備事業負担金	県施工事業自体は繰越で進められているが、経費一部負担については完了した。 平成18年度 40,200千円 平成19年度 20,000千円 平成20年度 2,620千円	土木課	鹽竈神社周辺の歴史的地区環境整備街路事業の整備延長を4.2km以上にします。	・歴史的地区環境整備街路事業の整備延長	0.25km	1.195km	1.240km	1.240km	4.2km以上					

平成20年度塩竈市環境基本計画関連施策・事業推進状況

環境像	基本目標	施策の方向	具体的施策	具体的施策名	重点施策	施策・事業名	実 施 状 況 (平成20年度末)	完了 率	主管課 (変更前)	管理指標	管理項目	管理指標実績				管理目標値			
												平成13年	平成18年	平成19年	平成20年				
1. 共生・い 海とす・自然 とを共 生する まち	(3) 自然 や伝統 的な景 観を守 り、活 用する	I 環境に 配慮し た都市 景観を 創造す る。	自然景観や周辺の 環境と調和した公 共施設や道路の景 観整備を進めます。	歩道の景観づくり		北浜沢乙線・下馬春日線景観 整備事業 【再掲】	北浜沢乙線沿線地区において塩竈市が施行する景観事業のコンセ プトに基づき可歩み作りの一環として安踏サインや道標等を配置した。 平成18年度 平成19年度 平成20年度 *設置件数 0 4件 4件 77箇所の設置を行う予定(ヒコム44基・Aノ46基)		土木課	文化財・史跡サインの設置数を 40箇所以上にします。	・文化財・史跡サインの設置数	12箇所	60箇所	66箇所	70箇所	40箇所			
							北浜沢乙線沿線民有地の景 観配慮の推進	民有地の景観推進事業	北浜沢乙線沿線の住民が歴史的地区環境に配慮した景観整備を行う 際に、アドバイス・資金援助を行う事業である。 平成18年度 アドバイス11件、交付16件 *実績 平成19年度 アドバイス10件、交付10件 平成20年度 アドバイス 2件、交付 1件		土木課	鹽竈神社周辺の歴史的地区環境 整備街路事業の整備延長を4.2km 以上にします。	・歴史的地区環境整備街路事業 の整備延長	0.25km	1.195km	1.240km	1.240km	4.2km以上	
							まちづくり資金融資制度の 利用推進	塩竈市まちづくり資金融資制 度預託事業	塩竈市まちづくり資金融資制度を要綱に基づき、住居や店舗を新築す る市民が必要とする資金の原資を預託し、潤いあるまちづくりを推進 する。 平成20年度までの実績は、6件 1.融資件数 20年度新規実績なし 2.融資金額 20年度新規実績なし		都市計画課	市民アンケート調査での「景観 や歴史・ゆとり空間」について、 「少しある」または「たくさんあ る」の回答率が60%に引き上げ ることを目標にします。	・「景観や歴史・ゆとり空間」に ついて、「少しある」または「た くさんある」の回答率	44.60%	アンケート調査未実 施	34.40%	アンケート調査未実 施	60%以上	
		景観配慮指針の推進	北浜沢乙線における景観整備 事業	北浜沢乙線沿線の住民が歴史的地区環境に配慮した景観整備を行う 際に、アドバイス・資金援助を行う事業である。 平成18年度 アドバイス11件、交付16件 *実績 平成19年度 アドバイス10件、交付10件 平成20年度 アドバイス 2件、交付 1件		土木課	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上						
2. 循環 (都市 の機能 や環境 と調和 した暮 らしの ある地 域循環 型のま ち)	(4) 地域 循環型 の都市 をつく る	J 省エネを推 進し、自然 エネルギー を活用す る。	市民・事業者の配 慮行動の推進を図り ます。	環境配慮行動指針の普及・ 啓発		環境配慮行動指針の普及・啓 発	イベントや広報誌を活用した啓発活動を行い、市民並びに事業者の 環境に対する配慮行動の推進を図る。 平成20年度実績 *環境月間における「パネル展」の開催(6月開催) *広報「しおがま」啓発記事掲載(12回) *塩竈市HP上に環境情報コーナーの開設		環境課	(9) 環境配慮行動の実施状況をアン ケート等で調査し、市民の環境配 慮のための重点行動指針の実施率 を初回調査時から10%以上引き上 げることを目標とする。	・市民の環境配慮のための重点 行動指針の項目の実施率	未調査	アンケート調査未実 施	アンケート調査未実 施	アンケート調査未実 施	初回の調査時から 10%以上に引き上 げる。			
							庁内の省エネル ギーの自 覚を定め 、市が先 行して省 エネに取 り組みま す。	環境率先実行計画の策定、 推進	しおがまエコオフィスプラン (塩竈市環境率先実行計画)	平成15年度作成の「しおがまエコ・オフィスプラン」に基づき、市 が率先して地球環境保全に取り組んでいる。また、平成21年度から実 行する第2次計画を作成した。 平成18年度 平成19年度 平成20年度 績 清掃工場 23.4% 57.2% 22.1% 上記以外 -13.5% -11.6% -21.5%		環境課	(6) 依頼)環境率先実行計画を平成 16年までに策定し、3か年ごと に見なおしながら推進します。	・環境率先実行計画の策定と管 理	未策定	しおがまエコオフィ スプラン策定済で実 行中	しおがまエコオフィ スプラン策定済で実 行中	しおがまエコオフィ スプラン策定済で実 行中	平成16年策定 3か年ごとの見直し
							公共施設への自然 エネルギー導入に 向け、新エネルギー ビジョンを策定しま す。	新エネルギービジョンの策 定、推進	塩竈市地域新エネルギービ ジョン推進事業	平成15年度策定の新エネルギービジョンを基に平成18年度に完成した 「塩竈市団地水産加工業協同組合」のBDF事業について、周知・広 報等の支援及びソフト事業を展開した。 【事業内容】 (1)BDF燃料化学業 精製施設(事業主体:塩竈市団地水産加工業(協))1,200%/8h/日 事業費 128,778千円うち補助金85,851千円(2/3) (2)実施事業 設工事業開始 平成18年11月28日 廃食用油収集先・市内水産加工工場等30ヶ所約30,000%/月 BDF登録台数 約200台(うち公用車18台) 販売価格 95円(税抜き) 平成20年度生産実績 約252,000 削減二酸化炭素量 約585,000kg-CO2 (3)管理ソフト事業 各種団体からの視察の受入 34団体・526名		環境課 (政策課)	リサイクル率を30%以上に引き 上げることを目標とします。	・リサイクル率	16.50%	18.60%	17.60%	20.90%	30%以上
									新エネルギー・省エネルギー 設備導入事業	平成17年度に市立病院で、新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)の補助が決定し、A重油を燃料とした空調設備から天然ガス 利用のヒートポンプシステムによる個別空調に移行した。(補助は平 成19年度に終了) 新エネルギー分 太陽光発電 実績4,934kw 実績率109.0% 省エネルギー分(院内設備) 補助事業終了のため、数値化せず		市立病院	(6) 依頼)環境率先実行計画を平成 16年までに策定し、3か年ごと に見なおしながら推進します。	・環境率先実行計画の策定と管 理	未策定	しおがまエコオフィ スプラン策定済で実 行中	しおがまエコオフィ スプラン策定済で実 行中	しおがまエコオフィ スプラン策定済で実 行中	平成16年策定 3か年ごとの見直し
									市民・事業者の配 慮行動の推進を図り ます。	環境配慮行動指針の普及・ 啓発		環境課	環境配慮行動の実施状況をアン ケート等で調査し、市民の環境配 慮のための重点行動指針の実施率 を初回調査時から10%以上引き上 げることを目標とする。	・市民の環境配慮のための重点 行動指針の項目の実施率	未調査	アンケート調査未実 施	アンケート調査未実 施	アンケート調査未実 施	初回の調査時から 10%以上に引き上 げる。
									K 廃棄物の減 量とリサイ クルを推 進する。	再資源化対策事業の推進	再資源化対策事業の推進	資源循環型社会を目指し再資源化率の向上を図る ごみ分別のパンフレット、ゴミ収集カレンジャー配布、広報誌で3R (リデュース「減らす」、リユース「再利用」、リサイクル「再使 用」)への取り組みの中で、ゴミの分別の注意点などシリーズで掲載 し啓発を図るとともに、施設見学会(538名)や環境パネル展での「ご み相談、分別体験コーナー」を設置し指導を行った。 ごみ分別方法変更に伴い、新しい「ごみの出し方」の巻を作成し 全戸配布を行った。 平成18年度 平成19年度 平成20年度 ごみ総量 25,428トン 24,713トン 24,095トン 再資源化 4,727トン 4,343トン 5,043トン 1人当たり 834.8g 779.9g 738.9g		環境課	(4)における各管理指標	・各管理指標の達成			
			市が率先して目標 値を定め、庁内にお けるごみの減量とリ サイクルに取り組み ます。	環境率先実行計画の策定、 推進	しおがまエコオフィスプラン (塩竈市環境率先実行計画) 【再掲】	平成15年度作成の「しおがまエコ・オフィスプラン」に基づき、市 が率先して地球環境保全に取り組んでいる。また、平成21年度から実 行する第2次計画を作成した。 平成18年度 平成19年度 平成20年度 績 清掃工場 23.4% 57.2% 22.1% 上記以外 -13.5% -11.6% -21.5%		環境課	(6) 依頼)環境率先実行計画を平成 16年までに策定し、3か年ごと に見なおしながら推進します。	・環境率先実行計画の策定と管 理	未策定	しおがまエコオフィ スプラン策定済で実 行中	しおがまエコオフィ スプラン策定済で実 行中	しおがまエコオフィ スプラン策定済で実 行中	平成16年策定 3か年ごとの見直し				
			市民・事業者によ るごみの減量・リサ イクルの主体的な取 り組みを支援しま す。	フリーマーケットの推進	フリーマーケットの推進	環境保全を目標に再資源化率の向上とごみの正しい分別のため各フ リーマーケット開催時に「ごみ相談、分別体験コーナー」を開設し啓 業に努めてきたが、一定の成果が得られたため19年度以降は行ってい ない。 開催回数 平成16年度 平成17年度 平成18年度 4回 3回 3回		環境課	[市民アンケートの取組み実施 率]	[各項目とも平成13年度アンケート 実施時点数値より引き上げる]	各項目の実績	アンケート調査未実 施	アンケート調査未実 施	アンケート調査未実 施					

平成20年度塩壠市環境基本計画関連施策・事業推進状況

環境像	基本目標	施策の方向	具体的施策	具体的施策名	重点施策	施策・事業名	実 施 状 況 (平成20年度末)	完了 (変更前)	主管課	管理指標	管理項目	市民生活部環境課				管理目標値
												管理指標実績				
												平成13年	平成18年	平成19年	平成20年	
(4) 地域循環型の都市をつくる	L 水の有効利用を推進する。		市・市民・事業者の配慮行動の推進を図ります。	環境配慮行動指針の普及・啓発	環境配慮行動指針の普及・啓発【再掲】	イベントや広報誌を活用した啓発活動を行い、市民並びに事業者の環境に対する配慮行動の推進を図る 平成20年度実績 *環境月間における「パネル展」の開催(6月開催) *広報「しおがま」啓発記事掲載(12回) *塩壠市HP上に環境情報コーナーの開設	環境課	(9) 環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とする。	未調査	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	初回の調査時から10%以上に引き上げる。			
				環境率先実行計画の策定、推進	しおがまエコオフィスプラン(塩壠市環境率先実行計画)【再掲】	平成15年度作成の「しおがまエコ・オフィスプラン」に基づき、市が率先して地球環境保全に取り組んでいる。また、平成21年度から実行する第2次計画を作成した。 平成18年度 平成19年度 平成20年度 績 清掃工場 23.4% 57.2% 22.1% 上記以外 -13.5% -11.6% -21.5%	環境課	(6) 環境率先実行計画を平成16年までに策定し、3か年ごとに見なおしながら推進します。	未策定	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	平成16年策定3か年ごとの見直し			
				水源の保全に広域的に協力していきま	水源保全の広域連携	水源保全の広域連携	水源の水質保全を目的とした清掃活動行事「水道水源七ヶ宿湖畔クリーン作戦」「大倉ダム湖周辺清掃利水者として参加した。 *6月水道水源七ヶ宿湖畔クリーン作戦 4名参加 *9月大倉ダム湖周辺清掃参加 4名参加	水道・総務課	[市民アンケートの取組み実施率] [各項目とも平成13年度アンケート実施時点数値より引き上げる]	各項目の実績	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施			
2 循環(都市の機能や環境と調和した暮らしのある地域循環型のまち)	M 環境に配慮した交通体系の整備を進める。	環境負荷の少ない道路の体系的な整備を進めます。	都市計画街路の整備	都市計画街路事業に伴う、ポケットパーク整備工事	都市計画街路下馬春日線道路整備においてポケットパーク整備や環境に配慮した歩道整備事業等を整備した。(ボケバ3ヶ所) 平成17年度中に整備事業は完了している。ポケットパーク整備及び歩道侵入の植栽整備、雨水処理等を目的とした大型のボックスカルバート増設による環境整備を行った。	土木課	市民アンケートでの「公共交通や歩いて行く場所に行くときは、自動車を使わないようにしている」の回答率を70%以上に引き上げることを見直しとする。	62.30%	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	70%以上				
			地方道改良、交通安全施設等の市道整備	交通安全施設整備事業野田留ヶ谷線道路改良工事	JR東北線塩釜駅からヨークベニマル塩釜店 多賀城市を結ぶ野田留ヶ谷線において、歩道整備を行った。 平成17年度で当該整備事業は完了している。パリアフリー化に伴う歩道整備工事	土木課	同上	同上	同上	同上	同上	同上				
			狭あい道路の整備や私道等整備の支援	狭あい道路整備事業	私道等の整備を行う町内会などに対して、補助を行い住環境の整備改善を図った。 平成18年度 平成19年度 平成20年度 26件 8,461千円 13件 6,805千円 9件 4,786千円	土木課	同上	同上	同上	同上	同上	同上				
N 社会資本の整備における環境配慮を進める。	社会資本の整備において環境負荷の少ないまちをつくるため、下水道整備を進めます。	環境負荷の少ないまちをつくるため、下水道整備を進めます。	公共交通網の利便性・連続性を高める利用向上を図ります。	市内循環バス路線の整備・充実	市内循環バス補助事業	利用者数の増加を図るため、NEIしおナビ100円バス試験運行との路線図・時刻表を統合掲載したチラシを作成し、市民へ全戸配付し、PRを行った。 交通の継続性維持のため、平成20年9月、平成21年3月JRのダイヤ改正に合わせて時刻表を改定。 平成19年度実績 357,945人 平成20年度実績 363,826人 NEIしおナビ 14,334人	政策課(市民課)	市内循環バスの利用者数を30万人以上に増加することを目標とします。	154,656人	324,033人(+169,377人)	357,945人(+203,289人)	363,826人(+209,170人)	30万人以上			
			バス・アンド・ライドやノーマイカーの普及など、公共交通の利用意識を高めていきます。	環境配慮行動指針の普及・啓発	環境配慮行動指針の普及・啓発【再掲】	イベントや広報誌を活用した啓発活動を行い、市民並びに事業者の環境に対する配慮行動の推進を図る 平成20年度実績 *環境月間における「パネル展」の開催(6月開催) *広報「しおがま」啓発記事掲載(12回) *塩壠市HP上に環境情報コーナーの開設	環境課	(9) 環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とする。	未調査	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	初回の調査時から10%以上に引き上げる。			
			社会資本整備において環境負荷の少ない資材・工法を導入していきます。	環境率先実行計画の策定、推進	リサイクル製品及び環境に配慮した重機使用促進	建築資材について、可能な限りリサイクル製品の使用に努めている 公共工事発注等に併し、再生資材等の使用を指定して行ったりしている(木材13または20 再生ワッパ923 など)	建設部各課(環境課)	(6) 環境率先実行計画を平成16年までに策定し、3か年ごとに見なおしながら推進します。	未策定	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	平成16年策定3か年ごとの見直し			
O 都市防災における環境配慮を進める。	都市防災における環境配慮を進める。	環境負荷の少ないまちをつくるため、下水道整備を進めます。	社会資本整備において環境負荷の少ない資材・工法を導入していきます。	公共下水道(汚水事業)の整備、接続促進	公共下水道(汚水事業)の整備事業【再掲】	計画面積に対する普及率 平成18年度 平成19年度 平成20年度 83.5% 89.1% 89.2% 人口普及率 98.5% 98.5% 98.5% 平成19年度繰越 24件 平成20年度繰越 1件	下水道事業所	下水道普及率(計画区域内)を100%にします。	95.70%	98.30%	98.50%	98.50%	100%			
			豊かな自然を享受し、それらと共存できる浦戸地区の生活基盤づくりを進めます。	漁業集落環境、海岸保全施設及び漁港の整備	漁業集落環境、海岸保全施設及び漁港の整備【再掲】	道路の整備を継続して行った。 野々島地区に漁業集落環境整備事業により汚水処理施設の整備を実施した。平成21年度供用開始を予定している。	水産課	(6) 市内の海域調査地点における水質の環境基準を達成・維持し更に上位の環境基準達成に努めます。	各項目の実績	各項目の計測値	各項目の計測値	各項目の計測値				
			海岸保全施設や急傾斜地崩壊対策などに環境に配慮した整備方法を取り入れていきます。	環境率先実行計画の策定、推進	合併処理浄化槽設置整備事業【再掲】	松島湾の水質浄化を目的として、浦戸地区における合併処理浄化槽の普及・整備を図る。事業補助は、平成21年度まで 平成18年度 平成19年度 平成20年度 補助実績 0円 0円 0円 浄化槽普及率 29.4% 29.4% 29.4%	環境課	同上	同上	同上	同上	同上	同上			
O 都市防災における環境配慮を進める。	都市防災における環境配慮を進める。	雨水流出抑制施設の整備を進めます。	海岸保全施設や急傾斜地崩壊対策などに環境に配慮した整備方法を取り入れていきます。	寒風沢漁港護岸工事	寒風沢漁港の護岸工事は、平成16年度事業で実施し、平成17年度に完了した。	水産課	(6) 環境率先実行計画を平成16年までに策定し、3か年ごとに見なおしながら推進します。	未策定	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	平成16年策定3か年ごとの見直し				
			雨水流出抑制施設の整備を進めます。	公共下水道(雨水事業)の整備	公共下水道(雨水事業)の整備	水害対策として、雨水の流出を抑制するため、一時的に貯めこみを行う市内や公園の貯留施設の整備を継続して実施。 その他、市内全域に対する雨水球の整備等、基礎整備を行っています。 平成19年度繰越 95件	下水道事業所	下水道普及率(計画区域内)を100%にします。	95.70%	98.30%	98.50%	98.50%	100%			

平成20年度塩壺市環境基本計画関連施策・事業推進状況

環境像	基本目標	施策の方向	具体的施策	具体的施策名	重点施策	施策・事業名	実施状況 (平成20年度まとめ)	完了 状況	主管課 (変更前)	管理指標	管理項目	市民生活部環境課				管理目標値																		
												管理指標実績																						
												平成13年	平成18年	平成19年	平成20年																			
2. 循環(都市の機能や環境と調和した暮らしのある地域循環型のまち)	P 環境汚染を未然に防止する。	公害防止対策の強化を図ります。	公害防止の監視・指導体制の強化	規制法・条例に基づく届出処理及び環境苦情処理		騒音振動等に関する規制法及び公害防止条例に基づく各種届出業務を行っている。公害苦情に関する申出を処理した。(31件)継続的な監視を行うために、悪臭防止法に基づく臭気測定等を定期的にを行っている。			環境課	工場、建設作業などに対する騒音・振動や生活型公害への苦情件数をなくします。	工場、建設作業などに対する騒音・振動や生活型公害への苦情件数	36件	6件	4件	31件	0件																		
												環境課	(6)における各管理指標	各管理指標の達成	各項目の実績	各項目の計測値	各項目の計測値	各項目の計測値																
		環境問題に対する情報収集・発信の体制をつくります。	国・県・他自治体との連携強化	環境情報センターの整備	環境情報センター設置事業	仙台地域七自治体公害防止協議会のはがき東北都市環境問題対策協議会、宮城県市長会環境部会等へ加盟し情報収集に努めた。		平成18年度に市民課中心に進めている市民活動支援センター設置に伴い、一部環境に関する情報提供等のコーナーを設置を行い、7月から同コーナーから誰でもが本市の環境基本計画部会や「塩壺市の環境」について、情報が受けられるようにHPを解説した。		環境課	(7)環境情報センターを平成16年までに整備します。	環境情報センターの設置	36件	6件	4件	8件	0件																	
													わかやすい環境情報の提供	環境情報等の提供	環境の現状について、平成19年度実績を踏まえた「塩壺市の環境」を発行した。(毎年発行)広報誌や環境パネル展を実施し、環境情報に努めた。平成20年度6月に「環境パネル展」をマリンプラザで行った。	環境課	(9) 依称)環境優良企業の認証割合環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とする。	未調査	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	初回の調査時から10%以上に引き上げる。												
	Q 空気や水をはじめとする環境質をより高める。	悪臭・地盤沈下など塩壺特有の環境問題への監視を継続します。	水産加工業活性化支援事業	本市の特徴を生かした商品の販路拡大と衛生管理体制の確立など業界の活性化に向けた自主的な活動の支援(補助額 3,750千円)魚食普及事業(計16回 延べ参加人数3,016名)広告求評事業(出展者29社 出展品目328品目 来場者1,100名)新商品開発・改良事業(4社5品目)食の安全・安心普及事業・衛生検査(検査項目5項目 検査箇所 延べ495箇所)・衛生可能な衛生管理の技術的ポイントを取得し、マニュアルを作成した。・衛生管理講習会 34名受講・消費市場及び消費地向けPRポスターの作成(ポスター150枚)		水産課	(9) 依称)環境優良企業の認証割合を市内の小売店の50%以上とすることを目標とします。	未認知	未認知	未認知	未認知	50%以上																						
													身近な環境の調査・観察を推進し、その結果を市民と共有していきます。	酸性雨・酸性雪調査の継続・情報提供	酸性雨・酸性雪調査の実施	酸性雨・酸性雪の調査を毎年行っており、年度単位の状況をまとめた。同時に、塩壺の環境や環境パネル展などの啓発資料として活用を図った。平成18年度 酸性雨 測定値 4.6pH 平成19年度 6.0pH 平成20年度 6.0pH	環境課	二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、光化学オキシダントについては、それぞれの環境基準を達成・維持します。	0.009ppm(H11年)	過去の測定結果により基準を十分クリアしているため、平成12年度より測定項目から除外	過去の測定結果により基準を十分クリアしているため、平成12年度より測定項目から除外	過去の測定結果により基準を十分クリアしているため、平成12年度より測定項目から除外	測定値の1時間値の一日平均値が0.04ppm以下かつ1時間値が0.1ppm以下											
																								生活型公害改善のため、市民や事業者のマナー向上を図ります。	「環境の日・環境月間」の啓発	「環境の日・環境月間」の啓発	6月の「環境の日・環境月間」に合わせ、啓発ポスターの掲示や広報紙への掲載、さらには環境パネル展を開催し、環境保全への理解と日常生活における環境行動の啓発を行った。	環境課	(8) 市民アンケート調査での環境に関する活動への市民参加率を60%に引き上げることを目標とする。	45.80%	アンケート調査未実施	60.10%	アンケート調査未実施	60%
													R 廃棄物の適正処理を推進する。	ごみの適正処理に向け、啓発・指導体制を充実していきます。	事業者指導の強化	市内集積所の巡回や通報により排出状況を調査し、直接事業所への指導を行った。	環境課	(6) 快適で安全な生活環境を確保する。の推進																
																								ごみ処理の広域化などにより計画的なごみ処理広域化を進めます。	ごみ処理広域化の推進	ごみ処理広域化の推進	平成18年度からの焼却処理方式による可燃ごみ処理事業を引き続き行い処理施設の延命化に努めた。宮城県ごみ処理広域化計画に基づくブロック協議会での事業具体化への働きかけを行った。	環境課						
清掃工場や埋立処分場など、ごみ処理施設の適正管理に努めます。	ごみ処理施設の適正管理	清掃工場においては、ばい煙測定(ばいじん、窒素酸化物、ダイオキシン類)や排出ガスの常時監視を行い環境基準をクリアした中で運転を行った。埋立処分場においては、ダイオキシン類測定や水質調査を行うとともに埋立量を調査しながら残容量の把握に努めた。	環境課																															
				3. 参加(一人ひとりの自覚と責任のもと、協働で環境保全に取り組むまち)	S 環境教育・学習を推進する。	多様な学習ニーズに対応する環境教育・環境学習活動の機会を拡大していきます。	環境学習プログラムの作成・提供	市の総合的な子どもたちの育成指針「のびのび塩壺っ子プラン」に、自然体験や観察活動、環境保護に対する意識の啓発等を明確にした行動計画を策定。H21年度前期計画の最終年度であることから、H20年度に後期計画策定に向けての新たな「のびのび塩壺っ子プラン推進地域協議会」を設置、開催した。	児童福祉課	(9) 環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とする。	未調査	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	初回の調査時から10%以上に引き上げる。																			
子どもエコクラブの推進	子どもエコクラブの推進	小中学生が環境を守るために活動する環境クラブへの加入について、各学校に周知を図るため、市内小・中学校校長、児童館に内容説明と加入促進を行った。平成20年度現在、市内に8団体	環境課													子どもエコクラブ加入グループ数を小学校区ごとに1つ以上を目標とします。	1グループ	6グループ	8グループ	8グループ	小学校ごとに1グループ以上(7グループ)													
																						まちの歴史から環境保全に役立つ方々やまちづくりを学び、活用していきます。	「塩壺学」まちづくり学習事業の推進	「塩壺学」まちづくり学習事業の推進	市民が郷土の自然や歴史・文化を理解し、まち並み景観、環境など、まちづくりへの活用や行動につなげてもらうための講座やシンポジウム等を開催する。塩壺学問所講座 (1)自然編 鹽壺サクラ探訪(2回)(4月 計27名参加)(2)歴史編 1.塩壺・松島「その景観と信仰」2.鹽壺神社の宝物と文化財(3.参詣する人々と鹽壺神社参詣料理(2月 計186名参加)シンポジウム「千賀浦の魅力」(3/29 100名参加)	生涯学習課	市民環境講座の参加率を60%以上とすることを目標とします。	50%	市民環境講座の参加率	56.0%(+6.0%)	51.3%(+1.3%)	54.3%(+4.3%)	60%以上	
小中学校総合的学習及び体験学習の推進	小中学校総合的学習及び体験学習の推進	小中学校において環境に関するテーマを設け学習を実施。[主なテーマ]・塩壺水探検隊(水の歴史)、身近な環境を考えよう、塩壺発地球環境問題解決のための第一歩、地球に生きること、ごみ・空気について、水について、E・Mくん地球を救う、地域・環境等	学校教育課			(9) 環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とする。	未調査	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	初回の調査時から10%以上に引き上げる。																							
												総合的な学習の時間などを活用した環境教育を進めます。	教職員の研修・研究活動の推進	各小中学校において、自然環境や生活環境に触れた体験学習の研究、理科・社会等教科科目の中に環境教育を取り入れる。	学校教育課	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上												

平成20年度塩竈市環境基本計画関連施策・事業推進状況

環境像	基本目標	施策の方向	具体的施策	重点施策	施策・事業名	実 施 状 況 (平成20年度まとめ)	完了 率	主管課 (変更前)	管理指標	管理項目	市民生活部環境課				管理目標値		
											管理指標実績						
											平成13年	平成18年	平成19年	平成20年			
3・参加(一人ひとりの自覚と責任のもと、協働で環境保全に取り組みまち)	(7) 環境について知る・学ぶ機会をのちやす	T 環境情報の共有化を進める。	環境情報を収集・発信するとともに、市民・事業者・市の情報共有の場として利用できる拠点を整備します。		環境情報センター設置事業【再掲】	平成18年度に市民課中心に進めている市民活動支援センター設置に伴い、一部環境に関する情報提供等のコーナー設置を行い、7月から同コーナーから誰でもが本市の環境基本計画前編や「塩竈市の環境」について、情報が受けられるようにHPを解説した。		環境課	環境情報センターを平成16年までに整備します。	・環境情報センターの設置		平成18年度開設(併設設置)	平成19年度H作成	随時更新中	平成16年度開設		
			広報やホームページなど、市民の目につけやすい情報提供ツールを充実していきます。		環境情報等の提供【再掲】	環境の現状について、平成19年度実績を踏まえ「塩竈市の環境」を発行した。(毎年発行) 広報誌や環境パネル展を実施し、環境情報に努めた。平成20年度6月に「環境パネル展」をマリナプラザで行った。		環境課	(9) 環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とする。		・市民の環境配慮のための重点行動指針の項目の実施率		未調査	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	初回の調査時から10%以上に引き上げる。
			シンポジウムや協議会など市民・事業者、市が交流し環境情報の共有化を図ります。		シンポジウムや協議会の開催、参加促進	平成18年度に市民課中心に進めている市民活動支援センター設置に伴い、一部環境に関する情報提供等のコーナー設置を行い、7月から同コーナーから誰でもが本市の環境基本計画前編や「塩竈市の環境」について、情報が受けられるようにHPを解説した。		環境課	市民環境講座の参加率を60%以上とすることを目標とします。	50%	56.0% (+6.0%)	51.3% (+1.3%)	54.3% (+4.3%)	60%以上			
		U市民・事業者の環境に関する主体的な活動を支援・育成する。	活動支援・人材育成など、環境活動の拠点となる施設を整備します。		環境情報センターの整備	平成18年度に市民課中心に進めている市民活動支援センター設置に伴い、一部環境に関する情報提供等のコーナー設置を行い、7月から同コーナーから誰でもが本市の環境基本計画前編や「塩竈市の環境」について、情報が受けられるようにHPを解説した。		環境課	(7) 環境情報センターを平成16年までに整備します。		・環境情報センターの設置		平成18年度開設(併設設置)	平成19年度H作成	随時更新中	平成16年度開設	
			V市民、市民、事業者の協働体制のもと環境に関する各種活動を推進する。		塩竈市環境審議会の開催	塩竈市環境審議会を開催し、平成19年度の環境基本計画並びにしがまエコオフィスの実施状況について審議を行った。塩竈市環境審議会の指摘事項を踏まえ、今後を生かしていく。		環境課	市民アンケート調査での環境に関する活動への市民参加率を60%以上とすることを目標とします。	45.80%	アンケート調査未実施	60.10%	アンケート調査未実施	60%以上			
			環境に関する行政施策等への市民参加機会を拡大していきます。		塩竈市環境審議会の開催	塩竈市環境審議会を開催し、平成19年度の環境基本計画並びにしがまエコオフィスの実施状況について審議を行った。塩竈市環境審議会の指摘事項を踏まえ、今後を生かしていく。		環境課	市民アンケート調査での環境に関する活動への市民参加率を60%以上とすることを目標とします。	45.80%	アンケート調査未実施	60.10%	アンケート調査未実施	60%以上			
	(8) 市民活動を支援・育成する	W 環境に配慮した行動を推進する。	環境率先実行計画を策定し、市が率先して環境配慮に取り組みます。		環境率先実行計画の策定、推進	平成15年度作成の「しがまエコ・オフィスプラン」に基づき、市が率先して地球環境保全に取り組んでいる。また、平成21年度から実行する第2次計画を作成した。 平成18年度 平成19年度 平成20年度 清掃工場 23.4% 57.2% 22.1% 上記以外 -13.5% -11.6% -21.5%		環境課	(仮称)環境率先実行計画を平成16年までに策定し、3ヵ年ごとに見直ししながら推進します。	・環境率先実行計画の策定と管理		未策定	未策定	未策定	未策定	未策定	未策定
			イベントや広報誌を活用した啓発活動を行い、市民並びに事業者の環境に対する配慮行動の推進を図る		環境配慮行動指針の普及・啓発【再掲】	平成20年度実績 *環境月間における「パネル展」の開催(6月開催) *広報「しがま」啓発記事掲載(12回) *塩竈市HP上に環境情報コーナーの開設		環境課	環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とする。		・市民の環境配慮のための重点行動指針の項目の実施率		未調査	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	初回の調査時から10%以上に引き上げる。
			市民や事業者が環境配慮指針の普及・啓発を進めます。		水産加工業活性化支援事業【再掲】	本市の特徴を生かした商品の販路拡大と衛生管理体制の確立など業界の活性化に向けた自主的な活動の支援(補助額 3,750千円) 魚食普及事業(計16回 延べ参加人数3,016名) 広告求評事業(出展者29社 出展品目328品目 来場者1,100名) 新商品開発・改良事業(4社5品目) 親の安全・安心普及事業 延べ495箇所) 衛生検査(検査項目6項目 検査箇所 延べ495箇所) *実施可能な衛生管理の技術的ポイントを取得し、マニュアルを作成した *衛生管理講習会 34名受講 *消費市場及び消費地向けPRポスターの作成(ポスター150枚)		水産課	(仮称)環境優良企業の認証割合を市内の小売店の50%以上とすることを目標とします。	・環境優良企業の認証割合		未認知	未認知	未認知	未認知	50%以上	
		X 環境美化を推進する。	「みやぎ違反広告物除却サポーター制度」への登録		環境美化・マナー向上の啓発	登録団体数 9団体 登録サポーター人数 151名 活動回数 28回 122人 除却枚数 398枚		環境課						登録団体 5団体 サポーター人数115名	登録団体 5団体 サポーター人数102名	登録団体 9団体 サポーター人数151名	
			環境美化・マナー向上の啓発		環境美化・マナー向上の啓発	美化活動に取り組むボランティア団体に対し、ごみ袋の提供・収集ごみの処分等の支援を行った 平成18年度 平成19年度 平成20年度 *実績 12団体、延べ27回 12団体、延べ26回 10団体、延べ14回		環境課	(仮称)美化推進地区数を毎年4地区ずつ増加していきます。	・美化推進地区数		未指定	未認知	未認知	未認知	毎年4地区ずつ増加	
			散乱ごみを防止し、市民の美化意識の向上を図ります。		ペット飼育のマナー向上の啓発	犬の登録、注射済票交付時にチラシ配布、口頭で呼びかけを行うとともに、広報誌による啓発を行った。市民から寄せられる苦情への対応等は、保健所との協力及び町内会巡回啓発チラシの配布により対応した。 苦情相談があった際には、電話だけでなく現場で顔を合わせてマナー向上に理解をいただけるよう説明 平成17年度からの継続事業として、ストラップ付き鑑札、注射済票の交付を行った。また、本年度より鑑札のデザインを犬の形に変更。 *狂犬病予防法では、鑑札と注射済票を飼い犬に着けておくことが義務付けられている。鑑札のデザイン一新や鑑札等にストラップを付けることで、飼い犬への苦情等が減少することが期待となり、飼い犬の所在が明らかになるとともに、飼い主の犬の飼育に関する意識向上が図られた。		市民課	(仮称)美化推進地区数を毎年4地区ずつ増加していきます。	・美化推進地区数		未指定	未認知	未認知	未認知	毎年4地区ずつ増加	